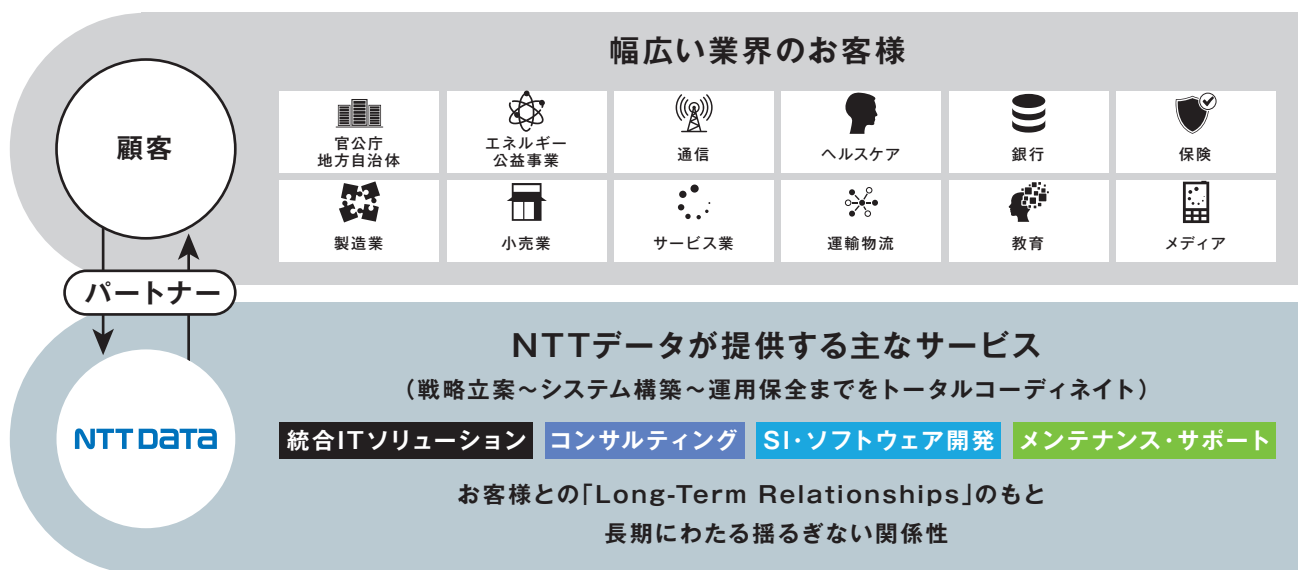


IT × 法務

未来の社会へ挑む



NTTデータグループのご紹介



NTTデータグループ | 法務部のミッション

「攻め」と「守り」の両面から経営とビジネスに貢献していく

最先端技術が次々と生まれるIT業界において、官公庁や製造業、金融、エネルギー、ヘルスケア等幅広い領域で事業を展開することから、

- ▶ 新規ビジネスに関するスキームの策定、法規制の調査・アドバイス等の「攻め」の法務
- ▶ 問題やリスクに対する未然の予防や、発現した場合の低減等といった「守り」の法務

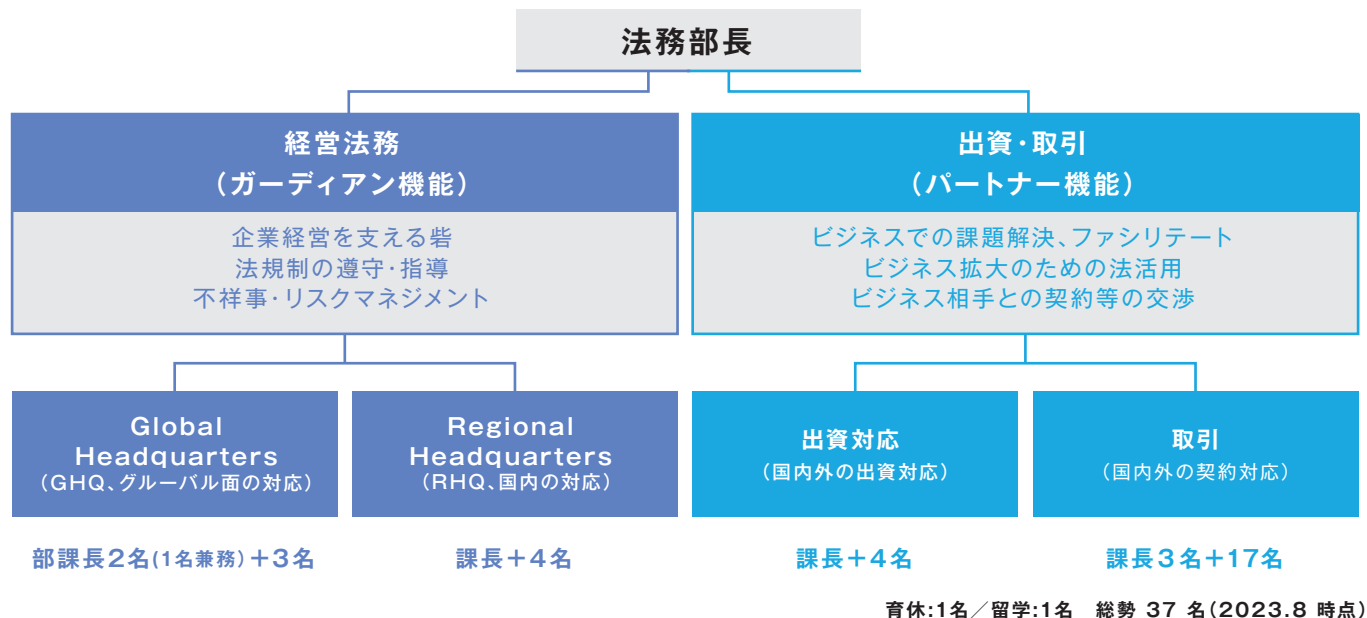
の両面から、企業活動のアクセラ・ブレーキとして経営がベストな判断をできるように筋道を示し、企業価値の一層の向上に寄与することが、法務に求められる役割になります。



NTTデータグループ | 法務部のご紹介

法務人財としての様々な経験やバックグラウンドを持つメンバが多数在籍しており、また、業務内容も伝統的なものから高度・最先端なものまで幅広いことから、多様な企業法務の経験を積むことができます。

体制図



主な業務

契約審査、 ビジネス相談	<ul style="list-style-type: none"> お客様や取引先との契約書の法的リスクの抽出、分析、指摘を行い、リスクヘッジ策を検討し提案 新規ビジネスに係る規制対応、スキーム策定等の法的助言全般
出資案件対応	<ul style="list-style-type: none"> M&Aや企業再編に係る法的対処(契約書作成、交渉支援、デューディリジェンス、届出等)
紛争解決、 トラブル対応	<ul style="list-style-type: none"> 賠償事案や訴訟、仲裁等の紛争解決、トラブル案件対応、各種労働事案への法的対処
意思決定審査	<ul style="list-style-type: none"> 経営会議及び取締役会付議案件の、意思決定内容や手続の適法性及び適正性に関する審査
国内グループ会社連携	<ul style="list-style-type: none"> 国内グループのリスクマネジメント体制充実に向けた国内グループ会社との連携及び支援、法務担当者の育成
グローバル法務	<ul style="list-style-type: none"> 海外グループ会社法務部門との連携、複数地域に跨るビジネスへの法的支援、グローバルコンプライアンスの構築
法令遵守の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 電気通信事業法、電子決済等代行業等の業法対応、各種コンプライアンス対応、景品表示法に基づく広告審査
法務情報収集、発信	<ul style="list-style-type: none"> 法改正、判例、リスクマネジメント等の情報収集、先端IT分野に係る法的問題に関する調査研究 上記に基づく法的助言、社内ウェブページやメール、Teams等を通じた情報提供
株主総会運営	<ul style="list-style-type: none"> 株主総会の運営、議案の整理、想定問答対応、当日の質疑応答に関する役員答弁のサポート
社員/役員向け法務研修	<ul style="list-style-type: none"> 法令やコンプライアンス、契約等に関する社員向け研修、会社法、コーポレートガバナンス等に係る役員向け研修
法務人財採用、育成	<ul style="list-style-type: none"> 採用活動(新卒、経験者)の拡充、育成(スキルアップ施策、LLM留学)の推進
各種リーガルテックの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> チャットボット、契約自動審査ツールの契約ラインナップ拡充による自動化推進、契約管理IT化の検討



加藤 ゆい

出資チーム所属

2019年入社(新卒・法務採用コース)
法学部卒

入社動機

大学時代のゼミで企業法務で働く先輩に指導を受ける機会が多かったことから、自然に企業法務に携わる仕事に就きたいと考えられるようになり、実際の就職活動でも専門職採用をしている会社を探しました。

また、就職活動をする中で様々な業種のお客様を相手にするため、様々なことを学び、広い知識を獲得できるということからメーカーやIT企業に興味を深めていきました。

色々な会社の中でも、面接をした際の雰囲気が自分に合っていると感じ、また、法務部門はサポートに徹するべきという考え方をしている会社がある中で、私が目指していた交渉やビジネスにより積極的にかかわる「攻めの法務」という働き方に共感いただいた当社に入社することを決めました。

現在の仕事内容

私が所属している出資チームでは、当社グループ全体の出資案件の支援、審査業務を行っています。出資と一言で言っても、国内外含め事業連携を目的としたマイナー出資、買収を目指したメジャー出資等入口の部分から、撤退、売却、再編の出口の部分まで業務は多岐にわたります。

また、出資案件がメインではありますが、データセンターへの投資案件なども対応をしています。社内の他のコーポレートスタッフと連携をしながら、出資をしたいと考えている組織に対してどれだけ積極的に提案や支援ができるのか、限られた日程でどれだけ適切かつ断片的な審査ができるのかを日々チームメンバーと考え、試行錯誤しながら実行しています。

印象に残った仕事

以前所属していた取引チームでも現在の出資チームでも経験がありますが、トラブルや複雑な案件に関して事業部門のサポートだけにとどまらず、顧客や取引先との交渉に直接参加し、法的な議論の整理をしたり、交渉方針の策定に関わる仕事が印象に残っています。

入社2年目で初めての交渉を経験し、会議の場での発言を任せてもらえ、相手方との議論をうまく整理できたことで自信につながりました。その後は当社の立場が弱いような難しい案件やステークホルダーが多い複雑な案件にも取り組み、年次を重ねるごとに交渉の難易度も上がっていると感じます。

若手の頃から入社時に希望していた「攻めの法務」を体現できるような経験ができ、実際にトラブル等が解決した際に事業部門と一緒に喜べるのが仕事のやりがいだと感じています。

成長したと感じること

取引チームでの業務に4年間取り組んだ後、出資チームに配属されたことで、対応できる業務が広く、深くなってきたことを実感します。先輩に教えてもらいながら対応していた業務が、徐々に一人で対応できるようになり、さらに後輩の育成や社内外のステークホルダーを巻き込んで自分がプロジェクトや人を動かしていく働き方にシフトしてきたことで社会人として、法務部員としてのレベルアップを日々感じています。

日々一緒に仕事をするメンバーが同じチームの法務部員から、部外の人や社外の人へと広がったことで、視野や視座が変わり、今まで対応してきた業務もまた違って見えるようになったことも変化の一つです。今までは見えなかった会社の仕組みや全社的な方針が見えるようになり、改善すべき課題も見えるようになりました。小さなところから課題解決に取り組んでいければと考えています。



谷澤 和真

取引チーム所属

2021年入社(新卒・法務採用コース)

法科大学院修了

入社動機

私は「成長機会の多さ」を軸に、法務配属の確約がない企業なども視野に入れて就職活動をしていました。総合商社や化粧品メーカーなども魅力に感じ悩んでいましたが、就職活動中に当社の法務部社員と話をする機会があり、当社の法務パーソンとして仕事をしていく上で単に法律知識だけでなく、ビジネス部門が実現したいことや障壁となっているものを聞き出すスキル、最新テクノロジーに関する知識なども必要と聞いて、IT法務に求められるものは多岐に渡ると感じました。そこから「この会社の法務なら学生時代に学んだ民法の知識を生かしつつ、広く生きたビジネスを学ぶことが出来る」と思い当社に入社を決めました。

現在の仕事内容

私の所属する取引チームは、社内のビジネスプロジェクトを法的側面からサポートする役割を担うチームです。具体的には、お客様との契約交渉支援/リスクチェック、新規ビジネス立ち上げに際しての法規制クリアランス、各種トラブル対応など、幅広くサポート対応しています。他にも社内向け研修や、法務情報配信など法的観点からトラブル予防できるよう啓発活動も行っています。社内のプロジェクト全てが担当範囲なので、日々多くのご相談を受けており、教科書的な法律知識だけでなくビジネスを理解した上でのアドバイスが求められるため、プロジェクトごとに答えが異なります。この部分に面白さを感じ、いつも刺激を受けています。

印象に残った仕事

新規ビジネスのプロジェクトに初めてサービス立上段階から携わったことが一番印象に残っています。

契約交渉支援では民法上の論点がメインですが、新規ビジネスを検討する上では、広く各種法規制に抵触しないかを留意してサービス構築する必要があります。一方、立上段階ではサービス内容が煮詰まっていないことが多く、事業部門に確認した内容をもとに法務側からプロジェクトに対して問題提起することが求められます。当時1年目の私はプロジェクト担当者から収集した内容以上のことを考えることが出来なかったのに対し、一緒に対応した先輩(5年目)は、同量のインプット情報で多くの問題提起をしたうえ、代替案の提案をしていました。私も、5年目には、あらゆる可能性を想像するスキルを身につけてビジネスに寄り添える法務人財になりたいです。

ある1日のスケジュール

08:30	テレワークにて業務開始 ・メールチェック/タスク確認
09:30	チームMTG(案件のアサイン、進捗確認、情報共有)
10:30	契約照会対応(契約書のリスクチェック)
12:00	お昼休み
13:00	ジムのため分断
14:00	業務再開・部内施策MTG
15:00	案件に関する事業部との打ち合わせ
15:30	案件の対応について先輩に相談
16:00	国際案件対応勉強会
17:00	契約照会対応の続き
18:00	終業

部内施策MTGでは、私が現在携わっている社内のビジネス部門に向けた法務研修プロジェクトについて進捗を確認したり、タスク整理を行っています。

契約照会対応等で不明点があれば先輩/上司にチャットやオンライン会議で対応方針を相談できるので、テレワークでも困ることは少ないです。ただ、テレワークが続くとどうしても運動不足になりがちなので、最近は業務を一時中断して自宅近くのジムに行くなどしてリフレッシュするようにしています。



元島 望美

RHQチーム所属

2023年入社(経験者採用)

法科大学院修了 弁護士

入社動機

前職では法律事務所にて一般民事事件や企業法務等を担当していました。企業からの法律相談を受けるなかで、紛争の発生後に介入するのではなく、よりビジネスに近い立場で交渉や紛争予防、社内法整備などを行う企業内法務の役割に興味を持ちました。当社を希望した理由は、現代社会の重要なインフラであるシステムを様々な業種や業界のお客様に対してグローバルにサービス提供をしている点に魅力を感じたためです。また、技術が進化し続けるIT業界では、ブロックチェーンや生成AIなど明確なルールがない新しい技術や、新しい法制度への対応が課題であり、今後も法務に期待される役割は大きいと考えました。そして、なにより入社時の面接を通じて、法務部で働いている方の明るく誠実な人柄に惹かれたことも決め手でした。

現在の仕事内容

私が現在所属しているRHQチームでは、国内グループ会社の連携、株主総会運営、法令遵守、法務研修など、多岐にわたる業務を担当しています。具体的には、他のスタッフ組織と連携して社内規程の策定や整備、訴訟等に関するグループ内での報告体制の調整をしています。会社の意思決定に関与することもあり、責任とやりがいを感じる業務だと思います。また、国内の法令に関する対応も重要な役割です。最近では、電気通信事業法や景品表示法の改正に伴い、社内向け資料を作成し、対応が必要な事項について周知や相談対応を実施しました。新規事業や実証試験を開始する際には、必要な許認可等や法令遵守のための取引スキームについて相談を受けることもあり、取引チームと共同して相談対応を行っています。

印象に残った仕事

印象に残った仕事としては、持株会社体制への移行に伴う対応と株主総会対応があります。持株会社体制への移行に伴い、各種社内規程の整備、許認可の承継や新規取得の業務を行いました。事業に影響を生じさせることなくスムーズに移行できるように、他のスタッフ組織と連携しながら既存の規程を修正したり、許認可等の承継・新規取得を行う業務は、通常の業務では経験できないため印象に残っています。また、株主総会対応では、主に役員答弁の答弁対応支援を行いました。株主総会の問答は、経営層と株主や投資家とのコミュニケーションの機会であり、適切な回答を提供し、透明性を確保し信頼を得るとともにリスクや潜在的な紛争を予防することが求められます。入社してから日は浅いですが、株主総会運営を通じて、当社のビジネスについての理解も深めることができました。

法律事務所との違い

「法律の専門家」としての役割ではなく、「チームの一員」として、会社のビジネスや組織を深く理解し、ビジネスのリスクを管理し、持続的な成長をサポートしていく立場である点に大きな違いがあると捉えています。法務部では、法律事務所と異なり、法的課題に早期段階から取り組み、事業部門や他のスタッフ組織などの多様な専門性を持つメンバーと協力しながらビジネスに貢献することができます。サービスが公開されたときに喜びを感じることができるのも企業内法務ならではのやりがいだと思います。また、法務部は他のスタッフ組織との緊密な連携が求められるため、希望すれば従来の法務業務にとどまらず、様々な業務やプロジェクトに参画できる点も魅力ではないでしょうか。



西尾 朋恭

GHQチーム所属

2013年入社(新卒・法務採用コース)

法学部卒 NY州弁護士

入社動機

専門性を活かすことができる、そしてその専門性を広げていける可能性を感じることができたことが1番の動機です。

私は「自己成長を直接的に業務に活かせる職種で働きたい」「それが大学で学んだ法律関連であればなお嬉しい」という思いで就職活動をしていました。当社は顧客の業界も幅広く、また海外ビジネスも大きく拡大している段階でしたので、深めていける専門性の幅も広いだろうと思い、当社で働くことを志望するようになりました。

その予想的中し、入社してから自己成長を業務に活かすことができている実感もある一方、求められる専門性が幅広い分、未だに道半ば、という感覚があります。

現在の仕事内容

私の所属しているGHQチームでは、海外グループ会社とのビジネス連携促進やグループ全体のガバナンスに資する取組を行っています。

例えば、ビジネス推進の面では、グループ会社間取引の効率化のために各種契約の策定等を行っています。海外グループ会社の法務部門のメンバーと日常的に連携して取り組んでいますが、各国の法制度だけでなく商慣習の違いも考慮する必要があり、その意味で難しさがある仕事です。

また世界中で変化の激しい個人情報保護法制等に対応するため、世界の政策動向のキャッチアップを行い、当社グループに影響があるものについては、グループ内の契約整備を通じて対応するなど、常にグローバルな目線で業務に取り組んでいます。

印象に残った仕事

2023年8月現在も取組中ですが、新たな技術トレンドである生成AIに関する取組みがとてもエキサイティングです。

この取組みは法務部内だけでなく、社内の他部門と密に連携をする必要があります。加えて海外グループ会社の法務部門やその他関係部門を巻き込み、更には経営陣との議論も定期的に行いながら、当社グループとしてAIを活用したビジネスにおけるリスク対策が十分行われるよう、必要な取組みを企画立案・推進しています。法規制については日本だけでなく世界各国でも議論が行われている段階であり、法的評価に関しては明確な答えが出せない中で、社内外の関係者と議論しながら自分たちで当社グループの取組の方向性を決めていく仕事は、難しさもある一方で面白さも感じられる仕事です。

LLM留学について

LLM留学では海外のロースクールに留学し、世界中から集まった法律実務家と共に学ぶことができます。

私はアメリカのロサンゼルスに留学し、米国法や国際取引の基礎的な内容のほか、最先端技術と法規制の関係・ルールメイキング(ゼミ)、法交渉学などを学びました。特にゼミでは「最先端技術の正しい活用に法規制はどう貢献できるか」という正解のないテーマについて議論を尽くす中で、世界各国のルールに対する考え方の違いなども学ぶことができました。

こうした講義を通じて国際法務に必要な知識を習得できただけでなく、文化的なバックグラウンドの異なるメンバーとの公私両面での交流を通じて、異文化コミュニケーションの基礎力を養成できた期間だったと感じています。

入社後には是非チャレンジしてみてください!

NTTデータグループ | 法務部のキャリアステップ

定期的な上司と面談し、各自のキャリアについて考える機会が与えられ、適正や志向、ライフイベント等に合わせたキャリアパスがあります。人によって異なりますが、一例をご紹介します。

長田 恵

法務部GHQチーム所属
2004年入社(新卒)
政治経済学部政治学科卒



事業部門(営業/SE/コンサル)3.5年間
<社内公募制度で異動>
▶現在:法務部16年目
…産休・育休約1年強

土井 玄景

法務部取引チーム所属
2008年入社(経験者採用)
大学院(文学部)修了



別会社の法務部
▶法務部9年間
▶人事・労務担当2年間
▶人事・制度担当2年間
▶現在:法務部3年目

三浦 由加利

グローバルガバナンス本部企画部所属
2008年入社(経験者採用)
法科大学院修了



官公庁
▶法務部8年間
▶事業部門(スタッフ)3年間
▶経営企画部門3年間
▶現在:グローバルガバナンス本部企画部2年目
グローバルガバナンス本部知的財産部1年目

三瀬 崇

法務部RHQチーム所属
2008年入社(新卒)
法学部法律学科卒



法務部3年間
▶NTT(持株)法務部(3年間)
▶法務部6年間
▶総務部門1年間
▶経営企画部門2年間
▶現在:法務部1年目

是枝 美紀子

法務部RHQチーム所属
2000年入社(新卒)
法学部卒



事業部門(SE)4年間
▶法務部5年間
▶事業部門(営業)3年間
▶総務部門1年間
…産休・育休3年間
▶現在:法務部8年目

萩岡 由美子

法務部GHQチーム所属
2013年入社(経験者採用)
法科大学院修了 弁護士



法律事務所5年間(弁護士)
▶現在:法務部9年目
…産休・育休1年間

森岡 隆幸

NTTDATA Asia Pacific所属
2011年入社(経験者採用)
法学部卒



別会社の法務部
▶法務部11年間
▶現在:NTTDATA Asia Pacific 2年目(法務担当)

眞忠 誠

NTTDATA Inc.所属
2008年入社(新卒)
法学部卒 NY州弁護士



法務部13年間
…LLM留学を2年弱経験
…留学中に、米国WashingtonDCの外資系ローファームの
現地研修、NY州弁護士資格取得
▶現在:NTTDATA Inc. 2年目(法務・経営企画担当)

NTTデータグループ | 法務部の育成・キャリア開発

IT知識の研修、専属の指導者(トレーナー)によるOJTと、それを補完・強化するOff-JTによって、IT企業法務のプロフェッショナル人財へと成長することができます。

IT知識の研修



IT企業の人財として必要な知識を習得できるよう、新卒は入社直後の約1か月半、集中的に研修で学びます。経験者採用の場合も、各種システム開発の研修を受講可能で、IT知識0でも心配ありません。

日常業務の個別指導 (OJT)



新卒の場合2年間、経験者採用の場合も一定期間、1対1でトレーナーがつき、会社のビジネスや文化・風土などを実務を通して指導します。

法務等の業務に必要な研修 (Off-JT)



企業法務に限らず業務に必要な様々なセミナー・通信講座等に参加し、体系的に知識・技能を取得できます。

LLM留学& 海外G会社でのインターン



海外のインターン先

ロースクールでの勉強や資格取得、異文化コミュニケーション能力の養成(異文化間折衝スキル、英語での議論力、海外人脈形成等)を目的にLLMに留学生を派遣しています。2023年8月時点においても1名派遣中(累計7名)です。

海外法人での勤務



NTTデータは世界50カ国超(2023年6月時点)に海外グループ会社があり、法務組織の立ち上げから安定的な組織運営を実現できるまでの支援として、海外法人で勤務する社員もいます。

外部活動



社内での活動だけではなく、情報サービス産業協会(JISA)等の団体で活動したり、IT企業側目線で契約実務を解説した「IT契約の実務」という書籍の出版などを行っています。

NTTデータグループ | 法務部の入社歴2年未満社員へのアンケート



下水木 (新卒・法務採用コース) 取引チーム 2022年入社 法学部卒	今岡 (新卒・法務採用コース) 取引チーム 2023年入社 法学部卒	元島 (経験者採用) RHQチーム 2023年入社 法科大学院修了 弁護士	渋谷 (新卒・法務採用コース) 取引チーム 2022年入社 法学部卒	村上 (経験者採用) 取引チーム 2022年入社 法学部卒	藤森 (経験者採用) 取引チーム 2022年入社 法科大学院修了 弁護士
--	---	--	---	--	---

Q.NTTデータのよいところは？

- A. システムというツールで業界問わず様々なビジネスにアプローチできること
- A. 様々な業務に触れるチャンスがあるうえ、成長できる環境・教育体制が整っている
- A. 社会を支えるソリューションを提供する役割の一端を担うことで、世の中への影響・貢献度を実感でき、仕事のモチベーションにもなる
- A. 先端技術を利用したアイデアやソリューションが世に送り出される場に携わることができる
- A. 先輩社員によるサポートの手厚さ・フォロー体制が整っていて働きやすい
- A. 「IT法務」は、様々な業界と関わるうえ、日進月歩の分野のため、幅広い業務経験を積むことができる
- A. リモートワークが基本の働き方で確立されているので、ライフステージが変わっても柔軟に対応し、働き続けることができる

Q.入社前後の悪いギャップはあったか？

全員がNO
NO 100%

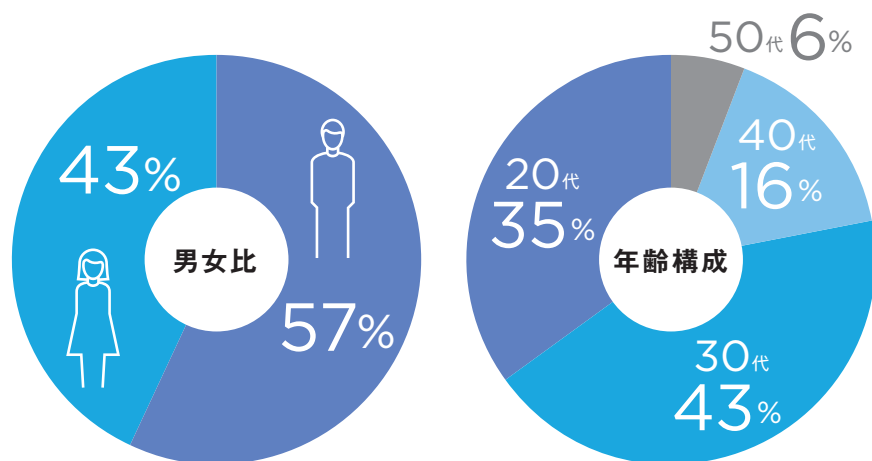
- A. 想像以上にフランクに会話でき、相談しやすい環境であった
- A. 若手のうちから大規模案件にかかわれる
- A. NTTグループのため堅いかと思ったら、想定より部署内の風通しが良い
- A. 育成に力を入れてくれている

Q.コロナ禍の影響で育成もリモートワークが多いが、支障はあるか？

全員がNO
NO 100%

- A. 周囲とのコミュニケーション不足もなく、先輩社員と会話する機会が豊富にあるため、問題なし
- A. 会議室への移動時間を考えることなく、連続で会議に参加できるので、会議が多い法務部にとって便利
- A. チャットでの連絡が活発で、対面でお声がけするよりもハードルが低くリモートの良さを実感
- A. 通勤時間がないため、体力温存した状態で業務に取り組める

数字で見る NTTデータグループ 法務部



法科大学院修了者(LLM含む)

29.7%

中途採用者

21.6%

(参考)NTTデータグループ法務部:総勢37名(2023.8時点)

NTTデータグループ 法務部の働き方

リモートワーク中心

会社支給のPCや各種ツールを使って、自宅やシェアオフィス等でのリモートワークが可能な環境を整備しています。出社の頻度は、上司と相談の上、柔軟に設定でき、勤務日の半分程度はオフィスに出社する・ほぼリモートワークとするなど、それぞれの希望やワークスタイルに合わせて働くことが可能です。



完全フレックス制勤務

コアタイムがない完全フレックス勤務制度を導入しているため、プライベートの用事に合わせて勤務時間を調整することができ、仕事とプライベートの両立がしやすい環境になっています。

早めに業務を終了して、ハッピーアワーを楽しむことも可能です！



育休制度

男性社員も積極的に育休を取得しています。育休取得後も、ほぼ100%の社員が職場復帰します。また、職場復帰後は、子供が小学3年生までは、短時間勤務(4時間勤務から可)で働くことが可能です。





NTTデータグループ採用HPのご案内

会社のこと、仕事のこと、社員のこと、もっとNTTデータグループを知りたい方は
こちらをご参照ください。

<https://nttdata-recruit.com/>



インタビュー・配属について2023年8月時点のものです。